

令和5年度入学試験問題

生活・総合(総合問題)

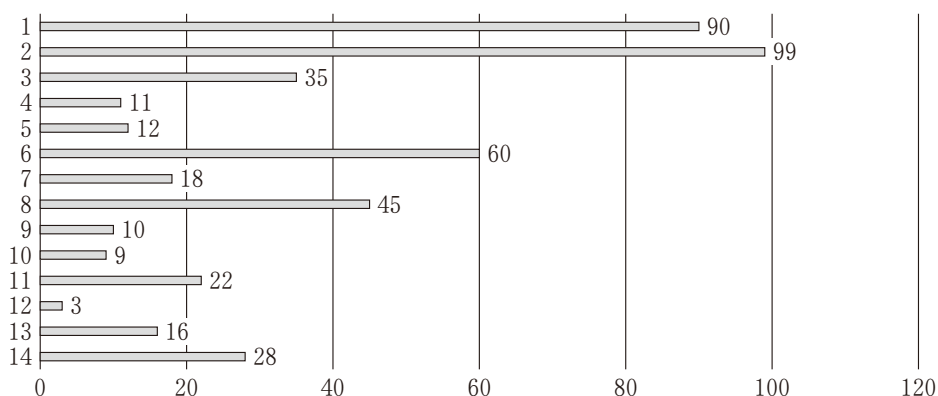
注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
解答方法は、すべて論述方式で、1マス目から書き始め、1文字空けたり、段落で改行したりせずに書き進めなさい。
3. 解答用紙は2枚です。
4. 各解答用紙には、受験番号を記入する欄がそれぞれ1箇所あります。
5. 試験終了後、問題冊子と草稿用紙は持ち帰りなさい。

I 資料1のグラフは、令和2年に国内の小学校教員103名を対象にとったアンケート調査で「生活科における生き物の飼育活動を通して育まれる資質・能力」について、1～14の項目の中から複数回答で答えてもらった結果である。資料2は、同アンケート調査において「生活科における生き物の飼育活動の減少理由」について、1～14の項目の中から複数回答で答えてもらった結果である。この2つの資料を見て、あとの問いに答えよ。

資料1：生活科における生き物の飼育活動を通して育まれる資質・能力のアンケート結果

※それぞれの項目右記に示した数値は回答数



【上記資料1の1～14の選択肢の項目】

1：生き物に愛着を持つ

2：命の大切さを知る

3：仲間と協力して活動することができる

4：人の気持ちを考えて行動することができる

5：積極的に行動することができる

6：責任感が育つ

7：試行錯誤する能力が育つ

8：感情が豊かになる

9：科学的な見方・考え方の基礎を養う

10：表現力を養う

11：学習意欲が高まる

12：自分に自信を持つことができる

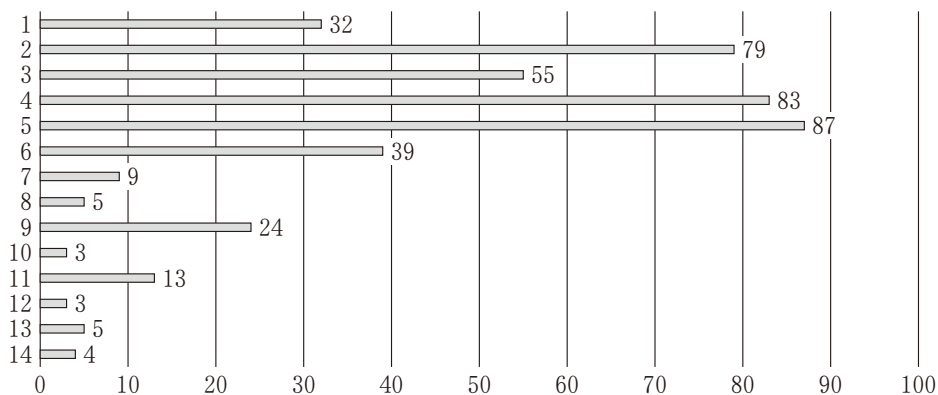
13：自分自身の成長に気付く

14：児童の心に残り、今後の生き方や生活を支える

資料 2：生活科における生き物の飼育活動の減少理由についてのアンケート

結果

※それぞれの項目右記に示した数値は回答数



【上記資料 2 の 1～14 の選択肢の項目】
1：動物の適切な飼育方法がわからない
2：衛生面の管理が難しい
3：校内に適した環境がない
4：休日や長期休業の世話に困る
5：アレルギーや感染症への対策のため
6：単元が終わった後、動物をどうするかが難しい
7：授業実践が少ない
8：単元構成が難しい
9：経費で行うことが難しい
10：動物愛護に反する可能性がある
11：医療の限界がある
12：地域に支援者がいない
13：保護者・近隣住民等からの反対
14：教育現場であえて行う必要がない

問 1 あなたが考える生活科における生き物の飼育活動で育まれる資質・能力とは何か、資料 1 のアンケート結果と比較・検討しながら 300 字以内で述べよ。なお、解答においては自身の生活科学習の体験を引用してもかまわない。

問 2 あなたは生活科において生き物の飼育活動の単元は実践すべきだと考えるか。「実践すべき」か、「実践すべきでない」か、あなたの考えを明らかにした上で、資料 2 のアンケート結果と比較・検討しながらその理由や、方策などを 300 字以内で述べよ。なお、解答においては問 1 で述べた内容や資料 1 のアンケート結果を再度引用してもかまわない。

II 資料3は、奈良女子大学附属小学校薄田太一教諭による小学1年生の実践事例であり、単元名「ほけんしつのはなをさぐろう」の中で子どもたち同士の学び合いについての報告の一部である。薄田教諭は、学び合いを通しての子どもたち同士の「横のつながり」を重視しており、子どもたちが相互に学び合うことが、子ども一人ひとりの思考を深めることになるとしている。資料3を読んだ後、各問に答えよ。なお、資料において○で始まる箇所(ゴシック体)は授業後の子どもたちの振り返り日記である。また、資料の中で児童名の代わりに用いられたイニシャルや文面はすべて原文のまま記載している。

資料3 実践事例報告 小学1年生「ほけんしつのはなをさぐろう」の一部

○6月29日 「ほけんしつのはなをさぐろう」 G女

今日2じかん目のしごと¹⁾のがくしゅうで、ほけんしつについてはなしあいました。わたしのいけんは、インタビューしたことで、りんせんせい²⁾は、おしごとがたのしいそうです。りゅうは、みんなとあえるからです。と、いいました。わたしがいいなとおもったのは、C女さんがいってくれた「さいきんプールもはじまったのでおながいなくなる人がおおい」といういけんです。わたしもそういうこともかんがえていたら、くわしくわかるとおもいます。これからどんだんいけんをだしあって、はなしあいをすすめたいです。

〈中略〉

子どもたちの追究が、独自学習と話し合いをくり返すうちに、だんだんと辻村先生の想いや願いにまで迫ってきた。そんな中で7月3日のしごとの時間は「辻村先生は、いつもここにこしているけど、どうしてなのか」ということが問題となって話し合った。

「辻村先生は、仕事が楽しいから」「治療して、みんなが元気になると、その姿を見ると嬉しいから」といった意見が出された。この日の日記には、次のようなことが書かれていた。

○7月3日 「ほけんしつのはなをさぐろう」 OR女

きょう、しごとながくしゅうで、ほけんしつのはなをさぐろうのことはなした。わたしは、ほけんしつのはなをさぐろうがたいへんだとおもった。なぜかという、よ

うちえんのころよりもほけんしつにいくひとがとてもおおくなったから。あと、くらあやぶうるのせいでおながかひえてほけんしつにたくさんのひとがくるから。でもせんせいが「しごとがたいへん。」といたら、すこしぐらいのけがやびょうきではがまんしようとみんながおもうとだめだから、せんせいは、らくちんにみせているだけだとおもう。

○7月3日 「しごとでおもったこと」 MN男

きょうは、しごとのじかんで、ほけんしつをしました。みんなは、わらってるといってるけど、ぼくはちがいます。わらうのは、たのしいときやおもしろいときにわらうことがおおいからぼくは、ちがうとおもいます。りんせんせいは、けがしたからいたいきもちやしんどいきもちをぬけだせるようにほほえんでくれているのだとおもいます。ぼくもりんせんせいが、にっこりしてくれ、うれしかったです。

〈中略〉

〔後日、OR女やMN男はしごとの学習で発表したが、それら〕の発表は、子どもたちに、辻村先生の想いや願いについて詳しく調べて考えなければというやる気を起こさせることになり、学び合いも顕著になってきた。(〔 〕内は、原著を省略・要約して記した箇所である。)

(注)

- 1) 同校には「しごと」という特徴的な教科が存在する。「しごと」の学習とは、自然、人間、社会の真実の姿を求めて、子どもたちが共同の探究活動を行う形態をとる学習である。
- 2) 「りんせんせい」は、同校の養護教諭である辻村琳先生のことである。

出典：薄田太一「学び合う子どもを育てるしごと学習～一年・しごと「ほけんしつ」のひみつをさぐる～」『学習研究』第488号 奈良女子大学附属小学校学習研究会 2018年

問 1 資料 3 において，子どもたちは保健室の辻村先生に関心をもって学習を進めている。このように，入学して間もない子どもたちが学校生活を支えている人と関わることは，子どもたちにどのような良い影響を与えるか。資料 3 の事例の具体例を示しながら 150 字以上 200 字以内で述べよ。

問 2 波線部は，保健室の辻村先生の想いや願いに迫る意見である。このような意見が出る話し合いが授業で行われることによって，学級の他の子どもたちの辻村先生に対する捉え方がどのように深まっていくと考えるか。150 字以上 200 字以内で述べよ。